

## 公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金 成果報告書

代表者氏名	小林勇輝	所属	大阪大学大学院人間科学研究科/ 日本学術振興会
研究会等名称	Young Perceptionists' Seminar 2018		
成果概要	<p>1) 参加人数 (会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください)</p> <p>会員 22 名 (うち認定心理士 1 名) 非会員 17 名 (うち認定心理士 0 名)</p> <p>2) 集会等の目的・成果等 (実施内容・成果・将来計画等を用紙範囲内に記載してください)</p> <p>本研究会は、基礎心理学領域の若手研究者を中心とした合宿形式の研究会である。若手研究者による研究発表と招待講演者による講演を中心として、相互の意見交換や交流などを主な目的として開催されている。今回で 46 回目の開催となった。昨年同様、知覚研究に限らない幅広い心理学研究の発表が行われた。</p> <p>大阪大学の学生・教員が中心となって開催された今回の研究会には、39 名が参加し、特別招待講演 2 件 (立命館大・佐藤隆夫教授, 大阪大・森川和則教授) と、一般発表 22 件 (プログラムに掲載された 23 件の発表登録のうち、1 件は発表取りやめとなった) が行われた。一般発表では 1 件につき 20 分の発表と 8 分の質疑応答が設けられ、視知覚、聴知覚、皮膚知覚や運動知覚、身体運動、空間知覚、注意など様々なテーマの研究についての発表が行われた。様々な研究テーマを持った若手研究者が日本中より集まり議論を交わした本研究会は、参加者全員にとって実りある機会となったと思われる。</p> <p>今回の特別招待講演では、立命館大学の佐藤隆夫先生、大阪大学の森川和則先生をお招きし、ご講演いただいた。佐藤先生のご講演 (「ものを見る」) においては、われわれの視知覚におけるトップダウン的処理の寄与の大きさについて論じていただいた。特に、マーの制約条件やゲシュタルト法則といったキーワードを中心として、ある処理が刺激の特性によるものなのか、ものを見る我々によるものなのかということに関し、有意義な議論が行われた。森川和則先生には、「知覚心理学も役に立つ! : 錯視研究の実用的応用と産学連携の可能性について」というタイトルで、これまで森川先生が行われてきた錯視の日常生活への応用、特に化粧や服装における錯視研究の概要をご紹介いただくとともに、一般企業との共同研究の可能性についてお話しいただき、若手研究者の今後の研究について多大な示唆を与えていただいた。</p> <p>合宿という形式を用いた本研究会では、夜間にも活発に研究に関する情報・意見交換が行われた。普段接する機会の多くない遠方の研究者同士の積極的な交流は、参加者個人のみならず、心理学界全体に利益をもたらすものであると考えられる。</p>		

## 研究集会参加者リスト

〈研究会名〉				
Young Perceptionists' Seminar 2018				
研究集会開催日： 平成30年 9 月 17 日(月)～19日(水)				
	氏名	所属	会員	認定 心理士
1	水原啓太	大阪大学大学院人間科学研究科		
2	竹之内博史	慶應義塾大学 政策・メディア研究科		
3	箕谷 啓太	東京工業大学工学院情報通信系 / 日本学術振興会		
4	西村友佳	関西学院大学大学院文学研究科	○	
5	小林由佳	中京大学心理学研究科	○	
6	金谷 英俊	立命館大学総合心理学部	○	○
7	松室美紀	立命館大学情報理工学部	○	
8	本居 快	愛知淑徳大学心理医療科学研究科		
9	杉浦 巧知	愛知淑徳大学健康医療科学部		
10	新井啓介	立命館大学大学院 情報理工学研究科		
11	竹島康博	同志社大学心理学部	○	
12	北岡明佳	立命館大学総合心理学部	○	
13	大橋佳奈	立命館大学人間科学研究科		
14	佐藤 那由多	大阪大学人間科学部		
15	臼井健太郎	立命館大学総合心理学部		
16	増田奈央子	久留米大学比較文化研究所	○	
17	森将輝	慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科 / 日本学術振興会	○	
18	小山真季	立命館大学大学院人間科学研究科		
19	午道青歩	立命館大学人間科学研究科		
20	村田佳代子	慶應義塾大学自然科学教育センター	○	
21	森田 磨里絵	立命館大学大学院 / 日本学術振興会		
22	宮坂 真紀子	女子美術大学大学院美術研究科	○	
23	橋口 哲志	龍谷大学 理工学部		
24	津田裕之	京都大学 大学院人間・環境学研究科	○	
25	麻野井千尋	東京女子大学大学院人間科学研究科 / 日本学術振興会	○	

	氏名	所属	会員	認定 心理士
26	岡村靖人	追手門学院大学大学院心理学研究科・日本 学術振興会	○	
27	草野 勉	神奈川大学人間科学部	○	
28	貝ヶ石優	大阪大学人間科学研究科		
29	石松 一真	滋慶医療科学大学院大学医療管理学研究科	○	
30	小林勇輝	大阪大学人間科学研究科 / 日本学術振興会	○	
31	武藤拓之	大阪大学人間科学研究科 / 日本学術振興会	○	
32	余根田耕	大阪大学人間科学研究科	○	
33	篠原恵	大阪大学人間科学研究科	○	
34	八木佑都	大阪大学人間科学研究科		
35	小川勇也	大阪大学人間科学研究科		
36	富田瑛智	大阪大学人間科学研究科	○	
37	森川和則	大阪大学人間科学研究科	○	
38	佐藤隆夫	立命館大学総合心理学部	○	
39	妹尾武治	九州大学芸術工学研究院		

(様式5)

平成30年 3 月 13 日

日本心理学会研究会 平成30 年度会計報告書

研究会名称 Young Perceptionists' Seminar 2018

研究会番号 研18027

助成金額 ¥40,000

年月日	項目	金額
2018年9月17日	会場費	¥40,000

---

支出合計 ¥40,000